

編集後記

あけましておめでとうございます。本年の6月まで（2年間）本誌の編集委員を務めています。今回初めて学会誌の編集委員という仕事を経験させていただき、一本の記事ができるまでの大変さを味わいながら、楽しい時間を過ごすことができました。また機会があれば担当させていただきたいなと思います。まだ、担当記事のとりまとめ作業が控えていますので、気合を入れて頑張ってまいります。

さて、コロナ禍にて皆さまのお仕事・生活はどのように変わったでしょうか。昨年は、私も良くも悪くもコロナに振り回された一年でした。特に、4月にリモート講義の準備を始めたときは、目がまわる毎日でした。今の職場（山形大学）に移ってそれほど間が経っていないこともあり、ただでさえ新しく担当する講義の資料作成で忙しかったのに、資料作成後に講義ビデオの録画も加わり、てんてこ舞い。一週間が弾丸のように過ぎていきました。建物の改修工事のため、研究室では騒音に悩まされ録画不可。仕方なく自宅で録画すれば、5歳の子どものかわいい声と3歳のうなぎ（犬）のやさしい鳴き声が録音されてしまい、ため息をつきながら子どももとうなぎをハグして仕事をする毎日

でした。ちなみに、私の研究室の学生は、今年度が第一期生です。いきなりリモート指導を経験させていただき、学生たちよ、指導力不足でごめんねと思いながら、右往左往することになりました。研究の面白さや醍醐味を画面越しに伝えるのは一苦労です。ひそかに旅行好きだったのに、学会や研究会はことごとく中止カリモートに。ああ、私は何を楽しみに生きたらいいのでしょうか。慣れない仕事に忙殺される毎日ではありましたが、一方で、家族との会話が増えたことは良かったことかも知れません。妻に言われてそんな馬鹿なと思ったのですが、私、ここ数年、年間100日は家を留守にしていたそうです。そんなに出張してないと思ってGoogleカレンダーを確認したのですが、確かに移動日を合わせると100日を超えていました。結構、家族に迷惑をかけていたようです。昨年は、今までにない気付きを得た一年でした。

今年はどのような年になるでしょうか。昨年は忍耐の年でしたので、今年こそはバリバリと研究を進めていければとワクワクしております。皆様にとって実りある一年になるように祈念しております。

（齋藤誠紀）

プラズマ・核融合学会 役員

会長：森 雅博

副会長：安藤 晃（推薦委員長：研究助成、男女共同参画委員長） 竹入康彦（推薦委員長：学会賞、研究部会連絡会委員長）

常務理事：下妻 隆（総務委員長）

理事：荒巻光利（編集委員長）

出射 浩

大勢持光一

大野哲靖

金子俊郎

木戸修一（財務委員長）

小西哲之

齊藤輝雄

篠原孝司（広報委員長）

神野雅文

中井光男（年会運営委員長、企画委員長）

和田 元

渡邊隆行（企業展示検討委員長、支部・地区研究連絡委員長）

横峯健彦

監事：中村圭二、前田達志

プラズマ・核融合学会 領域長

基礎 荒巻光利

応用 渡邊隆行

核融合プラズマ 大野哲靖

プラズマ炉工学 小西哲之

プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：荒巻光利（九大） 副委員長：出射 浩（九大）

エディタ：古閑一憲（九大），比村治彦（京都工織大），波多野雄治（富山大），城崎知至（広島大），藤田隆明（名大），村上定義（京大）

編集委員：池添竜也（九大），今寺賢志（京大），岩田夏弥（阪大），上野一磨（中京大），大谷芳明（量研），小川大輔（中部大），

呉 準席（大阪市大），小柳津 誠（量研），加藤雄人（東北大），河村学思（核融合研），小林 真（核融合研），小林政弘（核融合研），近藤康太郎（量研），齋藤誠紀（山形大），齋藤晴彦（東大），柴田崇統（高エネ研），清水鉄司（産総研），

竹田圭吾（名城大），田中宏彦（名大），中村浩隆（阪大），水口直紀（核融合研），向井啓祐（京大），本村大成（産総研），森田太智（九大），森高外征雄（核融合研），山田大将（長野高専），安原 亮（核融合研）

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

プラズマ・核融合学会誌第97巻第1号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

印 刷 株式会社荒川印刷

一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

2021年（令和3年）1月25日

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jpf.or.jp URL: <http://www.jpf.or.jp/> 定価1,300円（税別）

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人 プラズマ・核融合学会が所有しています。